

4 竹内さんはスピーチで、自分が読んだ文学作品について、冒頭を音読しながら紹介しようと考えています。竹内さんが紹介しようとしている文学作品の冒頭を取り上げた次の一から三までの各問いに答えなさい。

一 次の——線部①から③までの漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

それは、寒い日でありました。指のさきも、鼻の頭も、赤くなるような寒い日でありました。吉雄は、いつものように、朝早くから起きました。

「お母さん、寒い日ですね。」と、ごあいさつをして震えていました^①。

「火鉢に、火がとつてあるから、おあんなさい。」と、お母さんは、もう、朝のご飯の支度をしながらいわれました^②。

吉雄は、火鉢の前について、すわって手を暖めました。家の外には、風が吹いていました^③。

(小川未明「ある日の先生と子供」による。)

解答欄

①

えて

②

③

いて

二 次の——線部①と——線部②をそれぞれ現代仮名遣いに直し、全てひらがなでいねいに書きなさい。

宗助は先刻から縁側へ坐蒲団を持ち出して日当りのよささうな所へ気楽に胡坐をかいて見たが、やがて手に持つてゐる雑誌を放り出すと共に、ごろりと横になった。

(夏目漱石「門」による。)

解答欄

①

②

三 次の——線部①から④までのうち、動作をしている人(もの)が異なるもの一つを選びなさい。

ここに問題冊子のページ中国-18を70%縮小印刷し、貼付してください。

(井上靖『しろばんば』による。)

解答欄

Blank box for the answer to question 3.



竹内さん

4 竹内さんはスピーチで、自分が読んだ文学作品について、冒頭を音読しながら紹介しようと考えています。竹内さんが紹介しようとしている文学作品の冒頭を取り上げた次の一から三までの各問いに答えなさい。

一 次の——線部①から③までの漢字の正しい読みをひらがなで書いていねいに書きなさい。

それは、寒い日でありました。指のさきも、鼻の頭も、赤くなるような寒い日でありました。吉雄は、いつものように、朝早くから起きました。

「お母さん、寒い日ですね。」と、ごあいさつをして震①えていました。

「火鉢に、火がとつてあるから、おあんなさい。」と、お母さんは、もう、朝のご飯の支度②をしながらいわれました。

吉雄は、火鉢の前について、すわって手を暖めました。家の外には、風が吹③いていました。

(小川未明「ある日の先生と子供」による。)

解答欄

- ① ふる えて
- ② したく
- ③ ふ いて

二 次の——線部①と——線部②をそれぞれ現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書いていねいに書きなさい。

宗助は先刻①から縁側へ坐蒲団②を持ち出して日当りのよささうな所へ気楽③に胡坐④をかいて見たが、やがて手に持つてゐる雑誌を放り出すと共に、ごろりと横になった。

(夏目漱石「門」による。)

解答欄

- ① よささうな
- ② いる

三 次の——線部①から④までのうち、動作をしている人(もの)が異なるもの一つを選びなさい。

ここに問題冊子のページ中国-18を70%縮小印刷し、貼付してください。

(井上靖『しろばんば』による。)

解答欄

- ③



竹内さん